

令和7年度 部活動 活動結果

秋季総合体育大会の結果（文化部は大会の結果）をお知らせします。

運動部

陸上競技部

秋季総合体育大会結果

結果

2年生男子走幅跳 中野瑛太郎 優勝

2年生男子走高跳 平川慶志 4位

2年生女子砲丸投 藤井未央 5位

男子4×400mR(カバナダ ジョンマイケル 平川慶志 山中匠海 吉村莞太)4位

男子フィールド7位

講評

全体に、あと一步のところで次のラウンドに進めない選手が目立った大会であった。ふだんの練習の、あと一步の詰めの甘さが出た結果かもしれない。

力はあるのに、結果につながらるのはもったいない。今シーズンの反省を活かして、冬季練習では、元気で楽しい中にも、自分に厳しく、もう一歩頑張ることができるチーム作りを目指して頑張ってほしい。（顧問より）

バドミントン部

結果

団体戦

男子 VS 守山高校 0-5負け

女子(守山北・滋賀学園と合同チーム) VS 謙所 0-5負け

講評

男子は、0-5の負けとなつたが、今大会に向けて積んできた鍛錬の成果が十分に発揮されたと感じる試合内容だった。強敵相手に果敢に攻める姿勢で、今までのチームにはない成長した姿を見せてくれた。

女子は、合同チームであるにも関わらず、即興のチームワークで試合の形を作っていた。少ない人数でも十分に頑張れるということを、プレーで証明できた。（顧問より）

バレーボール部 女子

結果 予選リーグ戦

石部 0-2 立命館守山

石部 2-1 湖南農業

決勝トーナメント

石部 0-2 滋賀学園

講評

春季総体の惜敗から、攻守の力を向上させて臨んだ秋季総体。今大会は部員数の関係で守山北高校と合同チームとして練習に取り組んできた。本番前に不測の事態が起つたが、選手たちは冷静さを保ち、試合に臨んでくれた。鍛えってきた攻守の力をしっかりと出しながら試合を作ることができ、決勝トーナメントに進出することができた。

この大会で3年生は引退になる。自分たちがチームを引っ張ることができると不安な気持ちがある中スタートしてきつたが、最後は上級生としてチームを引っ張り、すばらしい存在感を見せつけてくれた。引退を惜しむ下級生の姿みて、3年生たちはそれぞれ自分なりに石部高校のバレーを引き継いでくれていたのだと感銘を受けた。（顧問より）

バスケットボール部 男子

結果 1回戦

石部	河瀬高校		
53	13	—	16
	9	—	9
	17	—	19
	14	—	23
			67

講評

河瀬高校に残念ながら敗北した。夏から体力面での課題を克服しようと練習に取り組んだ。しかし、終盤で点差を離されてしまった。良いプレーは随所に現れていたので1月の新人戦に向けてもっと体力をつけていきたい。

(顧問より)

卓球部

結果

男子学校対抗1回戦敗退 堅田高校 3—0 石部高校

個人戦 男子ダブルス

安藤・佐々木 組 (1回戦敗退)

個人戦 男子シングルス

安藤 千真 (2回戦敗退)

田中 李和 2回戦敗退

佐々木 海輝2回戦敗退

講評

大会中は苦しい時間が多くのあった。チームの足並み・体調管理・結果に対する焦りなど大会前に抱えている不安がそのままプレーに現れた。悩みを抱えつつ、今できることをやることはできた。しかし、苦しい時間に自分を信じ、腹をくくってやりきることについては足りなかった。

これから気持ちを新たに、苦しい時間に都合の悪いことをやりきることができる芯の強いチームへと成長を期待したい。

(顧問より)

硬式野球部

令和7年度秋季近畿地区高校野球滋賀県大会

結果 7校連合 0—13 近江兄弟社

講評

実力で勝る近江兄弟社高校相手に、ミスも多く完敗となった。

本校生徒も代打で出場したが、結果は残せなかった。(顧問より)

テニス部

結果

男子シングルス予選

岡本 1-6 (膳所)

宮嶋 6-2 (水口東)

0-6 (膳所)

男子ダブルス予選

岡本・宮嶋 6-3 (立命館守山)

0-6 (東大津)

講評

普段の練習を発揮できた一方、サーブミスなど基本的なミスが多くみられた。今後の目標は2回戦を突破することなので、引き続き基本的な練習とともに、試合を想定した練習を進めていきたい。

(顧問より)

結果

女子シングルス予選

岸野 6-1 (膳所)

0-6 (東大津)

立川 0-6 (立命館守山)

女子ダブルストーナメント

立川・岸野 1-6 (近江兄弟社)

講評

サーブリターンは安定をして入るようになり、ラリーが続けられるようになった。また、速いボールにもタイミングを合わせることができるようになり、粘り強くボールを返球する姿が印象的であった。今後は前後左右に動きながらのボールの返球練習やボールがどこに来るかの予測など、実践に繋がる練習に取り組み、次の試合では更に上の順位を狙いたい。(顧問より)

文化部

放送部

第46回滋賀県高等学校総合文化祭 放送部門

結果 入賞ならず

講評 登場人物のセリフと地の文との使い分けはできていたが、全体的にスピードが速めであった。

(顧問より)

吹奏楽部

第46回滋賀県高等学校総合文化祭 吹奏楽部門

結果

賞のある大会ではない。

次年度の全国総文秋田大会への出場をかけて選考にエントリーしたが落選した。代表には近江高校が選ばれた。

講評

審査員は2名、講評は以下の通り。

「フルート、トランペットソロ素晴らしい。しっかりと音が鳴っていてよいと思います。全体で吹いているときに流れがなくなってしまう所(棒吹き)が気になります。」

「楽器の編成上、合わせにくいところがあったと思いますが、少人数でしっかりと取り組んでいました。一方で音質・音程の課題が表面化しやすいので、個々の基礎力の向上を更に願います。」